



さかど  
SAKADO

# 市議会だより

## No.147

平成30年2月1日発行  
発行/坂戸市議会  
編集/さかど市議会だより  
編集委員会  
坂戸市議会事務局  
☎(283)1331内線613  
FAX(283)1690  
メール sakado71@city.sakado.lg.jp



寒さに負けない外遊び……チャイルドケアセンター・坂戸

### ● 主な内容

- ・第4回12月定例会…P2
- ・常任委員会審査概要…P3~5
- ・提出議案とその結果…P6
- ・市政一般質問……………P7~13
- ・議会報告会……………P14~15

- 12月定例会日程
- 11月21日(開会)
  - 市長提出議案の上程、提案説明
  - 11月24日
  - 議案に対する質疑(総括質疑)
  - 予算決算常任委員会
  - 11月28日
  - 総務文教常任委員会
  - 予算決算 総務文教分科会
  - 11月29日
  - 市民福祉常任委員会
  - 予算決算 市民福祉分科会
  - 11月30日
  - 環境都市常任委員会
  - 予算決算 環境都市分科会
  - 12月5・6・7日
  - 市政一般質問
  - 12月8日
  - 予算決算常任委員会
  - 12月13日(閉会)
  - 市長提出議案の討論、採決



# 第4回12月定例会 (11月21日～12月13日・23日間)

この定例会では、市長から14議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案を原案のとおり承認・可決しました。

## 主な総括質疑

### 〈市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定の件〉

**問** 本条例案は、28年10月に判明した市営住宅使用料の過誤徴収に対して、管理監督者としての責任を明確にするため、市長及び副市長の30年1月分の給料の100分の10に相当する額を減額するものことである。過誤徴収の判明から1年が経過しているが、条例案の提出がこの時期になった理由は。

**答** 過誤徴収の原因、対象となる期間、世帯数及び本来の額よりも過少に請求した額については、早い時点で調査結果が出ていた。しかし、入居者等に対して過少分の納付に係る意向調査や納付のお願いを継続して行ってきたため、時間を要した。納

付のお願いは今後も引き続き行っていくが、このたび納付に係る意向が概ね確認できたため、本条例案を提出した。  
**問** 今回の減額を1箇月分の給料の100分の10に相当する額とした理由は。  
**答** 本市の過去の事例や他の自治体の事例などを総合的に考慮したものである。



### 〈指定管理者の指定について(坂戸市立勝呂福祉作業所関係)〉

**問** 本議案は、30年4月以降の勝呂福祉作業所の指定管理者として、29年10月の選定委員会候補者として選定された合同会社ラポリを指定するためのものことである。指定管理者が現在の事業者から変更になるがそれにより施設利用者への影響はないか。  
**答** 指定管理者候補者である合同会社ラポリは、現在本市も含めて3つの市町で事業を展開しているなど十分な実績がある。指定管理者の変更にあたっては、家族会の意見も聴きながら、利用者には大きな影響をもたらさないように配慮している。今後も基本的に現行の作業を中心とし、企業実習や地域交流等もこれまでと同様に行っていく方針である。また、現在の職員のうち、今後も当作業所での勤務を希望する者については、指定管理者との調整を行うなど、利用者の心身の負担軽減に努める。

**問** 障害児通所給付費の増額補正の理由は。  
**答** 障害児通所給付費は、児童発達支援や放課後等デイサービスなどに対する給付費であり、サービスの利用者が増加したため増額が必要になった。なお、利用者が増えている理由としては、市内や近隣の放課後等デイサービス事業所等が充実し、利用者の選択肢が広がったことや、定期的な利用が定着してきたこととがあると考えている。

**問** 舗装、側溝修繕等工事について、900万円の増額補正が計上されているが、修繕件数は何件あるのか。  
**答** 主に舗装の修繕、側溝の破損に伴う修繕等、緊急的な修繕工事について市内全体で101件の要望を受けている。当初予算の中で75件が完了または発注予定となっているが、未処理の26件分を補正予算で対応したいと考えている。

## 審査概要

## 常任委員会

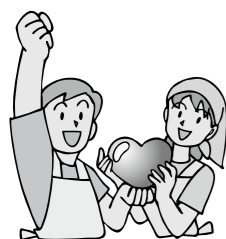
### 予算決算

#### 〈付託議案第75号〉

**問** 新入学児童生徒学用品等の就学援助費について、入学前支給の実施に向けたスケジュールは。  
**答** 既に実施に向けて要綱を整備しており、現在は、入学前支給に伴う就学援助システムの改修を行っている。今後は、29年12月から入学前支給の周知を行い、30年1月上旬から2月上旬にかけて保護者から申請を受け付け、3月20日頃に支給を実施する予定である。

**問** 学校給食調理業務委託について、この時期に債務負担行為を設定する理由は。  
**答** 学校給食調理業務委託は、3年契約で更新しており、今回は入西小、上谷小、桜中、千代田中の4校が契約更新となる。この4校について30年4月から

安定して給食を提供するためには、委託業者側に雇用確保のための十分な準備期間を与える必要がある。また、30年2月中には委託業者、学校、栄養士、教育委員会と打合せを行う必要がある。そのためには1月末には契約を締結しなければならないため、本議会で補正予算として債務負担行為を設定するものである。  
**問** 生活保護費の医療費扶助について、増額補正が必要になった理由は。  
**答** 今年度の当初予算は、28年度中に当該年度の決算見込額を推計し、その推計決算見込額を要求したものである。予算要求後の28年度下半期から29年6月にかけて生活保護世帯が予想以上に増加し、予算要求時に推計した決算見込額と実際の決算額との間に隔たりが生じ、扶助額が不足する状況となったためである。



### 虚礼廃止に関する決議について

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは禁止されています。また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止されています。  
本市議会では「虚礼廃止に関する決議」を行い政治浄化に取り組んでいますのでご理解ください。

政治家が卒業祝いや入学祝いを贈ることはできません。



### 議会を傍聴してみませんか！

3月定例会は  
2月20日開会の予定です。



※変更の可能性もありますので必ずお電話等でご確認願います。

- 1 傍聴の受付は、市役所3階になります。
- 2 傍聴申込書に住所・氏名を記入してください。
- 3 傍聴席は32席です。
- 4 本会議の開会時刻は原則として午前10時からです。



# 総務文教

〈付託議案第71・73号〉

**問** 市営住宅条例について、入居者が認知症である者等で収入の申告等が困難な場合、市が収入の申告等によらずに家賃を定めることができるよう改正を行うとのことだが、認知症である者等とは、具体的にはどのような者が該当するのか。

**答** 介護保険法に規定する認知症患者、知的障害者福祉法にいう知的障害者、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に規定する精神障害者、及びこれらに準ずる者である。

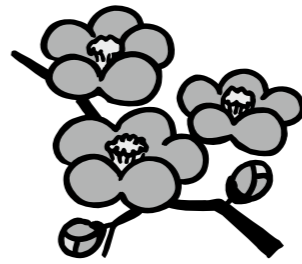
**問** 市営住宅条例について、収入の申告等が困難な入居者をどのように把握するのか。

**答** 全入居者に対して収入申告の提出依頼を行った後、未提出者に対して2回督促を実施する。それでもなお提出しなかった者に対して調査を行い、所管の施設管理課で申告ができるかどうかを判断する。

**問** 市営住宅使用料の過誤徴収に係る市長及び副市長の給料減

額について、今回のような不適切な事務処理について職員が処分を受けた事例は過去に何件あったのか。

**答** 過去15年の間に5件あり、そのうち特別職の減給まで行った事例は1件である。具体的には、21年4月の公金誤振り込みについてのもの、高額の誤振り込みだったこと、また、関係職員が減給処分の対象になったことから、職員の管理監督責任として市長、副市長、教育長の1箇月分の給料を減額した。



# 市民福祉

〈付託議案第69・72・78・79・80・81号〉

**問** 坂戸市自殺対策計画審議会条例は、委員を15人以内としているが、どのような方を想定しているのか。

**答** 自殺の要因は、様々な要素が複合的に重なるため、多方面の方々に協力してもらいたいと考えている。具体的には、大学教授や弁護士などの学識経験者、医師や薬剤師などの医療関係者、社会福祉協議会やハローワーク、労働基準監督署などの社会福祉・雇用に従事する方、西入間警察署、本市の小・中学校養護教諭などの行政機関の職員のほか、民生委員の方や、市民参加の観点から公募の市民の方を想定している。

**問** 自殺者が年々増えているが、本市では自殺対策をどのように進めてきたのか。

**答** 現在行っているものでは、年6回実施している精神科医師による心の健康についての「こころの専門相談」、パソコンや携帯電話から簡単にストレスチェックや落ち込み度チェックができる「こころの体温計」、年1回坂戸保健所や管内市町との共催で実施しているメンタルヘルス講演会などがある。また、9月の自殺予防週間や3月の自殺対策強化月間等には、広報やホームページを活用して自殺予防に

関する正しい知識の普及・啓発や相談窓口の案内を行っている。なお、過去に行った取組として、自殺対策に係る人材育成を図るためのゲートキーパー養成講座を開催している。

**問** 自殺対策計画は、いつまでに策定するのか。

**答** 30年度中の策定を目指している。具体的には、坂戸市自殺対策計画審議会が本市の自殺の実態分析結果から見た課題や取組の現状、地域の実情に沿った計画案について審議し、素案をまとめ、31年の年明けに市民コメントを実施し、策定する予定である。

**問** 学童保育所第二ほしぞらクラブでは、何名の支援員を置く予定なのか。

**答** 7名を予定している。



# 環境都市

〈付託議案第70・74・76・77号〉

**問** 森戸橋の架替は、現在下部工の新設工事が施工中であり、今回、上部工新設工事の契約締結の議案が提出された。最終的に森戸橋が完成するまでのスケジュールは。

**答** 下部工の新設工事は、30年6月の完成に向けて進めている。上部工の新設工事は、31年9月に完了する予定である。32年度には、橋梁の右岸、左岸の取付道路工事を発注し、当年度内に完成する予定で、その後供用を開始する計画である。

**問** 森戸橋の上部工新設工事では、歩道幅員が2・5mとされている。本工事の路線の規格では、歩道幅員が3・0m以上なければ自転車歩行者道を設置できない。自転車歩行者道を考慮しなかった理由は。

**答** 自転車歩行者道は、道路構造令により、自動車や自転車、歩行者の交通状況を踏まえて設置することとされている。森戸橋は、高校や西大家駅へ通勤・

通学する自転車や、大家小学校等へ向かう児童の利用が多い状況ではあるが、東京国際大学のグラウンド箇所は幅員2・5mで歩道が設置されており、その他の道路には歩道が設置されていない状況であるため、自転車歩行者道の計画は行わなかった。

**問** 森戸橋の上部工新設工事の入札では、参加した9社全てが最低制限価格で応札しているが、最低制限価格の設定方法はどうなっているのか。

**答** 国から通知されたモデルによる計算値を使って設定している。このモデルの計算値は適宜改正されているが、本市では最新のものを採用している。

**問** 森戸橋の上部工新設工事の財源内訳は。

**答** 本工事は、社会資本整備総合交付金の対象であり、請負額5億5380万3480円の55%相当額の3億459万1千円が国庫補助金、2億2420万円が起債、残りの2501万2480円が一般財源になると見込んでいる。

## 「坂戸市イメージキャラクター条例」(案)について 皆様のご意見をお待ちしています

坂戸市議会では、

### 「坂戸市イメージキャラクター条例」

の制定を進めています。

この条例は、本市を象徴するキャラクター(さかろん)の活用を促進することで、本市イメージの向上、市民郷土愛の醸成、及び活力あるまちづくりに資することを目的とするものです。

この度、条例案がまとまりましたので、市民の皆様からのご意見を募集します。

※条例案は、提案箱設置場所で配布のほか、市ホームページからご覧いただけます。

3月2日(金)  
までにお願  
いしま〜す。



坂戸市イメージキャラクター  
さかろん

- 【募集期間】 平成30年2月1日～3月2日
- 【応募方法】 次のいずれかの方法で、ご応募ください。
  - 提案箱 市役所(1階市政情報コーナー及び3階議会事務局窓口)、各公民館、入西地域交流センター、各出張所、中央図書館  
〒350-0292 坂戸市千代田1-1-1 坂戸市議会事務局
  - 郵送 049-283-1690
  - FAX 049-283-1690
  - Eメール sakado71@city.sakado.lg.jp
- 【応募用紙】 提案箱設置場所で配布のほか、市HPからもダウンロードできます。
  - ・原則として指定様式としますが、住所(勤務先、学校名)、氏名(ふりがな)、電話番号、性別、年齢(○才代)を明記いただければ任意様式でも結構です。
  - ・点字により応募される場合は、点字標準用紙を使用してください。
- 【問い合わせ】 坂戸市議会事務局 049-283-1331(内線611)



**一般質問** 原稿は質問者本人が執筆したものですので、あらかじめご了承ください

**問** 30年度から32年度を期間とする第7期介護保険事業計画策定に向けての基本的な考え方は。

**答** 地域包括支援センターの機能強化、地域密着型介護サービス体制の充実、認知症施策の充実等を柱として第6期計画で開始した事業の更なる充実を図る。

**問** 第7期計画の最終年度となる32年度における本市の高齢者人口・高齢化率・要介護認定者数の推計値は。

**答** 国から示されている「見える化システム」による現時点での暫定の推計値は、高齢者人口2万9712人、高齢化率29・3%、要介護認定者数は4031人となっている。

**問** 第7期での新たな事業は。

**答** 高齢者人口の増加を考慮し、日常生活圏域の見直しを予定している。

**問** 日常生活圏域の見直しと併せて地域包括支援センターの増設を含めた強化を図るべきでは。

**答** 地域包括支援センターを増



**問** 設し、支援体制の充実を図る。

**問** 第6期計画では、3年間の事業費を約183億円としたが、第7期計画の事業費見込みは。

**答** 国の「見える化システム」による推計では、第7期計画の暫定事業費は3年間で200億円を超えるとしている。

**問** 介護保険給付費等準備基金の本年度決算見込額は。

**答** 本年度末で11億2千万円を見込んでいる。

**問** 要介護認定者数や総事業費の増加等、厳しい状況だが、第1号被保険者の保険料は基金を活用して大幅な上昇を抑制すべきと考えるが。

**答** 介護保険給付費等準備基金を積極的に投入して保険料の上昇の抑制に努めたい。

**問** 市長は、坂戸市を具体的にどのようなまちにしていきたいと考えているのか。

**答** 将来にわたり選び続けてもらえる自治体を目指して市政運営を進めている。主な施策として、河川改修の実施や災害備蓄品の充実を図るなどの防災・減災対策を進め、交通安全対策として、森戸橋の架替や関間千代田線の整備などにより道路環境の整備を行い、子どもたちを危険から守っていく。また、教育委員会と協力して、子どもたちの学ぶ教育環境の整備を行う。さらに、今の子どもたちが親になったときにも安心して本市で生活ができるように、市庁舎をはじめとした公共施設の維持管理及び城山小学校跡地などの公共施設跡地の有効活用を図り、市全体で子どもたちを育むことにより、街中から子どもたちの笑い声が響き渡る坂戸市を目指していく。



市庁舎

**問** 市民が大規模な災害のとき

**問** 市庁舎が使用できない場合は、坂戸市業務継続・職員行動計画に基づき、災害対策本部は、坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部に設置する。その他、優先的通常業務を行う代替施設は、勝呂公民館、入西地域交流センター、大家公民館としている。

**その他の質問**

●本市の財政状況と予算編成について

介護保険事業計画について

森田 文明

市長の目指す坂戸市について

小澤 弘

提出議案とその結果

(平成29年12月定例会)

全会一致の議案	
議案番号	議案名
第68号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度坂戸市一般会計補正予算(専決第1号)関係)
第69号	坂戸市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第70号	市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第71号	坂戸市市営住宅条例の一部を改正する条例制定の件
第72号	坂戸市自殺対策計画審議会条例制定の件
第73号	市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定の件
第74号	工事請負契約の締結について(森戸橋架替整備事業上部工新設工事関係)
第75号	平成29年度坂戸市一般会計補正予算(第3号)を定める件
第76号	平成29年度坂戸市坂戸都市計画事業石井土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)を定める件
第77号	平成29年度坂戸市坂戸都市計画事業片柳土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)を定める件
第78号	平成29年度坂戸市介護保険特別会計補正予算(第2号)を定める件
第79号	平成29年度坂戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を定める件
第80号	指定管理者の指定について(坂戸市学童保育所第二ほしぞらクラブ関係)
第81号	指定管理者の指定について(坂戸市立勝呂福祉作業所関係)

議案番号	議案名	賛否の分かれた議案				
		民政クラブ	公明党	日本共産党	さかど新政会	無党派
—	※今回は該当する議案はありませんでした。	(6人)	(4人)	(4人)	(2人)	(2人)

(平成29年12月13日現在)

民政クラブ					公明党			日本共産党				さかど新政会		無党派					
小川直志	小澤弘	※加藤則夫	大澤初男	内田達浩	森田文明	田中栄	古内秀宣	藤野登	柴田文子	野沢聖子	吉岡茂樹	新井文雄	鈴木友之	平瀬敬久	飯田恵	猪俣直行	武井誠	弓削勇人	(石井寛)

( )は議長  
※欠席者(採決時)



小川 直志

問 「地域包括ケアシステム」の中における社会福祉協議会の役割について伺う。

答 「介護予防や生活支援」については、住民を主体とする支え合いの仕組みであることから、地域福祉の要である社会福祉協議会にも関わってもらうことが必要であると考えている。

問 成年後見制度の現状と課題について伺う。

答 後見人の受皿である専門職の不足が見込まれることから、社会福祉法人などの「法人後見」の充実や市民後見人の活躍が期待されることであり、現下の課題であると認識している。

市内の水害対策について

問 大谷川や飯盛川排水機場のポンプを増設してほしいという要望が出ている。管理者である坂戸、鶴ヶ島下水道組合や県に要請することについて伺う。

答 普段から冠水時の水深を知らせることは重要と考える。導入に向けた研究を行っていく。



※地域包括ケアシステム…介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、住まい、介護予防や生活支援が一体的に提供されるシステム。

内田 達浩

問 「さかろん」の取組は。答 着ぐるみの貸出しを広く一般に行い、また、周知のためにホームページ内に特設サイトを作成し、FRP製オブジェを市役所と坂戸駅に設置した。さらに「ゆるキャラグランプリ」に初出場することでPRを行った。

問 本市が作成したプロモーション動画については。答 官・学連携事業として県立坂戸高校に依頼し、インターネッ ト配信を開始したところ、新聞、メディア等で報道された。

問 様々な事業での取組の現状をどのようにつまえているのか。答 過去には本市を紹介する際に、川越市の隣と説明していたが、最近では「坂戸よさこい」「早咲きの桜並木」等で着実に知名度が向上していると考ええる。

問 本市のプロモーションに今後どのように取り組むのか。答 ホームページのリニューアルを予定しているほか、映画やドラマのロケ地を誘致するため、

「フィルムコミッション」の仕組みづくりを検討しており、市内の映像を通して魅力を発信していきたいと考えている。

子ども達の学力向上について

問 いわゆるアクティブ・ラーニングを文科省の学習指導要領で紹介しているが、本市の取組である学び合いとの違いは。答 本市の学び合いによる学習スタイルも目指すところは同じであり、アクティブ・ラーニングの一つの取組と考えている。

問 ICT教育の実践のためにはタブレット型パソコンの導入を考へるべきでは。答 多くの児童生徒はICTを活用した生活に慣れていて、ICT教育の充実のためには大変有意義であり、研究する。



※アクティブ・ラーニング…教員による一方的な講義形式の教育ではなく、子どもたちが主体的に課題の発見・解決に向けて周囲との対話の中でより深く学んでいく学習法。

市の財政運営について

吉岡 茂樹

問 自治体財政運営で「名譽の赤字・不名譽の黒字」と指摘されることがある。国に対して自治体は圧倒的に不利な税財政制度の下で、住民のために力を入れれば経常経費が大きくなり、赤字になる可能性がある。これを名譽の赤字という。逆に住民負担を重くし、サービスを切り下げて黒字にした場合を不名譽の黒字という。本市の民生費と財政調整基金(積立金)は、川越市、鶴ヶ島市等の近隣6市と市民一人当たりの金額で比較すると、財政調整基金が約3万4千円と高額で、民生費は約10万8千円で最低額になっている。つまり、市民の福祉充実(くらし応援)に必要なお金が回っていない。積立金は過大ではない。不測の事態に迅速に対応するために40億円程度の積立金は必要と考える。

問 全く理解できない。「三位一体改革」は国の失策であった。また、大規模災害に備えるというが、予想もつかないではないか。国の悪政には、市民を守る立場で厳しく対応し、大規模災害時には、国に抜本的復旧対策等を求めるのが自治体の役割である。今現在の市民の要望に応じて、くらしを応援するという姿勢が必要ではないか。答 財政調整基金は、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために必要な積立金である。スピード感を持って、真に市民本位のサービスの提供、市民満足度の向上のため、効率的な財政運営を推進していく。

一般質問

一般質問の詳細は、ホームページでご覧いただけます

問 「不測の事態」とは。答 自治体財政を厳しくした、「三位一体改革」や「東日本大



坂戸駅の駅前広場について

猪俣 直行

問 20年度以降、駅前広場の整備が進んでいないが、市が進めていることは何かあるのか。答 市所有地と東武鉄道所有地の交換について協議をしている。

問 貸店舗用地部分も協議内容に含まれているのか。答 検討はしているが、具体的な取得交渉はまだしていない。

問 整備を具体的にを行う際、地元商店街の方と協議を行うのか。答 整備計画の策定等の際には、地元商店街などと協議していく。

問 南口ロータリー内で、度々高速バスとの接触事故があると聞かれますが、状況と防止対策は。答 毎日32回の高速バスの発着があり、年に数回事故が発生しているため、ラバーポールの設置を検討している。

教育行政について

問 本年度の学力調査の概要は。答 全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、入間地区の国語及び算数・数学の



※コミュニティ・スクール…学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。



武井 誠

鈴木 友之

一般質問 原稿は質問者本人が執筆したものですので、あらかじめご了承ください

**問** 中学校で英語検定実施を検討中とのことだが、このような民間業者のテストを市の予算で行うことについてどう考えるか。

**答** 生徒の英語力を高め、英語学習の意欲を高める有効な一方策であると考えている。

**問** 様々な学力テストを増やすことによる子どもたちへの負担をどう考えるか。

**答** テストを実施して生徒一人一人が自分の得意・不得意な問題や学習分野を確認することは学習意欲の向上につながると考える。

**問** 英語検定や学力テストよりも、教育環境の整備・充実が優先されるべきではないか。

**答** 教育環境整備に関する事業と学力テスト等の学力向上に直接的に主眼を置く事業は、言わば車の両輪だと認識している。

教職員の心身の健康管理

**問** ICカードを使用した教職員の出退勤時刻管理が始まった



入西小学校の昼休みの風景

が、勤務時間外の在校時間は、**答** 3校で調査した結果、1日平均2時間20分、1箇月当たりでは80時間以上が13人、100時間以上が2人であった。

**問** 大規模校である入西小学校への産業医の配置は。

**答** 医師会等の協力を得ながら速やかに準備を進めたい。

**問** 市内全ての小・中学校教職員への「ストレスチェック」は。

**答** 近隣市町村の情報を集約し、実施に向けて検討を進めたい。

その他の質問

●高齢者の「閉じこもり」対策

**問** 老人福祉センター料金徴収に関する市民コメントで提出された意見は、どのように考慮されたか。

**答** 市民コメント内の賛否だけに頼った多数決は公平性を欠くとも考える。反対意見が寄せられることは想定していたが、当事者からも賛成意見が複数寄せられ一定の理解を得ているとの認識の下で提案した。

**問** 市民コメントの結果概要は。

**答** 全体で27件の意見があり、賛成意見が8件、反対意見及び反対がくみ取れる意見が16件、その他3件であった。

**問** この市民コメントは、計画策定等についてのものと違い、料金値上げへの意見を問う内容である。意見は、賛成・反対となることは想定していたのか。

**答** 想定していた。

**問** 反対意見16件、賛成意見8件である。賛否だけに頼った多数決は公平性に欠けるとの見解であるとのことだが、提出件数



老人福祉センター ことぶき荘

国民健康保険の都道府県単位化について

新井 文雄

学童保育所の運営について

平瀬 敬久

**問** 30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が県になることに伴い、保険税が上がるのではないかなど国民の大きな関心ごとになっている。29年9月には県の第3回の試算が示され、11月には市の国民健康保険運営協議会が行われた。今後の保険税の方向性が明らかにされる時期と認識しているが、第3回試算の結果を受けての市の見解は。

**答** 市が県に納める国保事業費納付金の試算結果を分析すると、現段階では約5億5千万円の赤字補填が必要になり、補填無しでは保険税の大幅値上げになる。

**問** 第2回の試算と比較して国保事業費納付金が減った理由は。

**答** 追加公費1200億円の反映や、医療給付費等のデータが更新されたことなどである。

**問** 一般会計繰入れについては。

**答** 国からは、法定外繰入れを計画的に削減・解消していく方針に変わりはないが、来年度は、激変緩和措置を行っても乖離が

生じる場合には、短期間で被保険者の負担が著しく増えないように法定外繰入れも考慮し、検討してほしいとの要請があった。

**問** 29年11月の市の国民健康保険運営協議会での審議内容は。

**答** 算定の基礎数値が不確定で、市民への周知期間も取れないため、保険税率に係る条例改正は見送りが適当との意見であった。

**問** 来年度は従来どおり一般会計から繰入れを行うのか。

**答** 歳入の保険税収入と歳出の事業費納付金・保険事業費との乖離を見ながら総合的に判断する。基金の取崩し等で財源を確保し、財源不足が見込まれる場合には、真に必要な額を繰入れざるを得ないと考えている。

**問** 学童保育所の適正人数と現状はどうなっているか。

**答** 定員は児童数や入所希望のニーズ等を考慮し、施設ごとに設定している。施設は国が定める基準に基づいて設置し、施設規模の適正化を図るため、必要な整備を実施している。

**問** 老朽化が進む施設の建替え時期はどうなっているか。

**答** 安全性を第一に考えており、基本的には施設規模に対する入所児童数の状況や、建築年度が古く経年劣化の著しい施設などから順次整備を図る。

**問** 整備場所の選定はどうか。

**答** 第一に小学校校舎内の余裕教室の活用を図り、第二に学校敷地内、第三に小学校隣接地等で整備を行いたいと考えている。

**問** 保育料の保護者負担額は。

**答** 小学1～4年生が月額1万3500円、5、6年生が月額8千円だが、家庭状況等に配慮して減免制度を設けている。

**問** 河川及び周辺の復旧・整備

**問** 台風21号で崩落した高麗川の城山橋上流の遊歩道の復旧計画はどうなっているか。

**答** 30年の出水期までに修繕する方向で県が検討している。

**問** 東坂戸団地内の大谷川護岸の一部流出の原因は。

**答** 下水道組合によると、29年8月19日の大雨の影響で構造物の脇から水が入り、護岸ブロックの一部が流出し、さらに台風21号で流出範囲が拡大したとのことである。

**問** その修繕内容は。

**答** コンクリートブロック積みによる護岸復旧と聞いている。

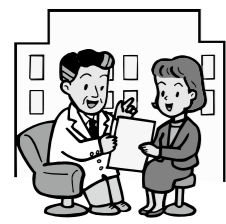
**問** 河川敷運動公園のトイレを水洗トイレにできないか。

**答** 水洗化は困難だが、更新時に簡易水洗トイレを検討する。

一般質問

市民の願いを叶らせるために

激変緩和措置を行っても乖離が





弓削 勇人

加藤 則夫

**問** 東洋経済新報社による2017年住みよさランキングにおいて、県内40市中、東松山市が1位であり、本市は2年連続最下位だが、なぜだと考えるか。

**答** 限定された範囲の評価であり、本市の魅力が一切加味されていない。

**問** 東松山市や川越市等の隣接市町にはない、本市の魅力は。

**答** 鉄道・高速道路のアクセス環境、高麗川等の自然、複数の大学を有していること等がある。

**問** 空き家改修工事等補助の対象を中古物件の改修だけでなく、空き家の解体費用に広げ、空き家の取壊しと新築住宅供給を促進すべきと考えるが。

**答** 有効な方策の一つであり、解体費用の補助を検討する。

**問** 転入促進のため、新規住宅購入者への固定資産税減免制度を実施すべきだと考えるが。

**答** 検討する。

**問** 税収増と本市活性化のため、働く世代、特に若い世代・子育て世代の転入増加を図る必要がある。そのためには、給食費無料化や高校までの医療費無償化等、隣接市町にない本市独自の魅力を作るべきだと考えるが。

**答** 慎重な検討が必要である。

**問** 本市には明確な特徴がない。人口減、税収減を回避し、高齢化に対応する安定的な財政基盤を構築するためにも、貯金を増やすだけでなく、税収増に向けた新たな施策実施に経営資源を集中投資すべきである。本市は、一度開始した事業は廃止しない、思い切った新たな事業は行わない、他市町村との明確な差別化は必要ないというが、本当に人口減、税収減は抑制されるという認識なのか。市長の考えは。

**答** 現在の事業を実施することによって抑制されると考えている。



圏央道・関越道の周辺開発について

柴田 文字

**問** 29年7月に施行された地域未来投資促進法の概要は。

**答** 地域の中核企業を支援し、地域全体へ経済波及効果を及ぼそうとするものである。支援対象は、地域経済をけん引する事業であり、IoTやAI（人工知能）等を活用した第4次産業革命関連の分野など地域の特性を生かした成長性の高い分野が例示されている。主な支援措置は、研究開発や設備投資に対する補助、設備投資に係る減税や固定資産税の減免措置などがある。

**問** 坂戸IC周辺開発の現状は。

**答** 土地区画整理事業による産業基盤づくりを計画しており、市街化区域編入に向けて関係機関との調整等を進めている。

**問** IoTへの取組については。



**答** 第4次産業革命関連産業などでの活用を想定しており、それ以外の産業においても活用が期待されるものである。

地域の福祉と医療の連携

**問** UR賃貸住宅団地の地域医療福祉拠点化については。

**答** UR都市機構、地方公共団体、地域包括支援センター、自治会、医療・介護事業者など、地域の関係者と連携・協力しながら、UR賃貸住宅を中心とし、住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境の実現に向けた取組が進められている。

**問** 地域包括ケアシステムにおける地域包括支援センターの現状は。

**答** 国の規定に基づき、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員など専門職が配置されており、地域住民の心身の健康保持、生活の安定、保健医療向上のための包括的支援と総合相談業務などを担っている。

**問** 各所管課からの予算要求から予算案の成立までの予算編成の流れを尋ねる。

**答** 例年、8月中旬に市長が予算編成方針を示し、9月中旬に財政課が各所管課から予算要求書の提出を受け、10～11月上旬までヒアリングを実施し、12月中旬に市長に予算概要説明を行う。予算案の方向性について市長から指示を受けた後、総合政策部長から予算内示を行い、年明けに予算内示に対する部長折衝を行っている。そして、1月中旬までに市長査定を行い、予算案を作成している。

**問** 各所管課から予算要求した事業内容を探したが、予算編成作業中であり、答弁はできないとのことであった。経過途中の内容を答弁できない理由は。

**答** 予算編成過程の情報は、市の内部での検討に関する情報であって、これを示すことにより、地方自治法の第211条に規定する、予算の調製における中立性が損なわれ、予算編成事務に支障を来すおそれがあるため、答弁は控えさせていただきたい。



**問** 正副議長が市長に議会費の件で申入れをしたところ、問答無用、聞く耳は持たないという態度であったのではと感じている。議会との対話は必要ではないと考えているのか。

**答** 議会との対話は欠かせないと認識している。

**問** 住民や議会が予算編成に参加する仕組みを作っていくことが、これからの自治体に求められるが、予算編成の流れを公開する考えはあるか。

**答** 予算編成過程の公開については、慎重に対応したい。今後、近隣の他市の状況等を確認し、検討したい。

坂戸の未来を担う人材育成について

野沢 聖子

**問** 人材育成に対する考えは。

**答** 国内外の大きな環境の変化に対応するための人材の育成は、極めて重要であると考えている。

**問** 主権者教育については。

**答** 主権者としての能力を養うだけでなく、地域の振興・創成の観点からも重要である。

**問** 中学生による「坂戸みらい議会」の開催の考えは。

**答** 中学生による、市議会の体験や提言は大変有意義だと考える。開催について研究していく。

**問** 高校・大学生等と意見交換会などの交流の場を持つ考えは。

**答** 若者の市政への参画に向け、広く若者に周知する方法や若者が参加しやすい意見発信の方法など、検討を進める。

**問** 高校・大学生等に、選挙事務に協力してもらうなど、若者に対する啓発活動については。

**答** 若い世代が主権者として政治的判断能力を高めていくには、参加型の啓発活動が重要であると認識している。県が実施する

**問** 現在、市で把握しているバス停留所の設置要望は。

**答** 入西地域交流センター、厚川の新木戸付近、関間地区などである。

**問** 利便性向上のため、市民バスの現在走行位置をリアルタイムで表示するシステムを導入する考えは。

**答** 若い世代の利用促進につながると思われる。導入を踏まえ検討していく。



**問** 埼玉医大への乗り入れ等、他市町との連携については。

**答** 鶴ヶ島市とは連携している。毛呂山町とは相互利用の連携について、更に検討していく。



# 市民と議員の懇談会

# 議会報告

## 【内容】

- 9月定例会の報告  
平成28年度一般会計歳入歳出決算、  
条例等の議案の審議及び審査結果
- 意見交換会

## 【勝呂公民館会場】

実施日：平成29年11月12日(日)  
実施時間：午後4時～6時  
参加者数：12人

### ○主な質問・回答

- 平成28年度一般会計歳入歳出決算について
  - 問 単年度収支の赤字をどう考えるか。
  - 答 住民サービスを考えた場合、赤字の年度も出てくる。経常収支比率の推移は注視していく。
- 学童保育所について
  - 問 なかよしクラブ、わんぱくクラブ、風の子クラブの老朽化が進んでいるが、対策は。
  - 答 市の方針としては、子どもたちの安全・安心のため、できるだけ早く対応していくとしている。子どもたちの安全を第一に考えているが、基本的には施設規模に対する入所児童数の状況や、建築年度が古く経年劣化の著しい施設などから順次、整備を図っていくこととなる。



## 【北坂戸公民館会場】

実施日：平成29年11月12日(日)  
実施時間：午後7時～9時  
参加者数：8人

### ○主な質問・回答

- 本市の財政について
  - 問 28年度では、経常収支比率が91.8%に悪化している。税収の改善が必要ではないか。
  - 答 市の借金である市債の増加は、臨時財政対策債が多くを占めており、交付税措置が行われるが、税収の増加策は必要である。



### ● 高齢者施策について

- 問 高齢者にかかる医療費を削減するための政策はあるのか。
- 答 健康マイレージ、葉酸プロジェクト、お達者体操、地域包括ケアシステムなどがある。高齢者が出かけられる場所をつくり、支え合う仕組みを周知・促進していく。

### ● 老人福祉センターについて

- 問 60歳以上の市内居住者の利用料が有料化されるのは、いつからなのか。
- 答 30年4月1日からである。

# 会を実施

本市議会では、市民の皆様には、議会の活動内容を広く知っていただくとともに、意見交換の場としての議会報告会を実施しています。

今回は、議員が4チーム4会場に分かれて実施しました。

参加者の皆様には、ご質問や貴重なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございました。

各会場の主な実施結果は、次のとおりです。

## 【千代田公民館会場】

実施日：平成29年11月12日(日)  
実施時間：午後7時～8時52分  
参加者数：21人

### ○主な質問・回答

- 関間千代田線について
  - 問 アンダーパス工事の進捗状況は。
  - 答 36年に完了予定である。国からの予算が予想より少ないため、進捗が遅れている。
- 学校トイレの改修について
  - 問 一度に改修をできないのか。
  - 答 今年度は三芳野小学校で大規模改修を行っている。大規模改修は工事期間が夏休みなどに限られ、時間がかかるため、まずは洋式化を進めている状況である。

### ● 生活習慣病予防について

- 問 具体的な予防対策は。
- 答 40歳以上の国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査や、今年度から開始された人工透析への移行の防止を図る生活習慣病重症化予防対策事業などがある。



## 【入西地域交流センター会場】

実施日：平成29年11月18日(土)  
実施時間：午後6時～7時43分  
参加者数：34人

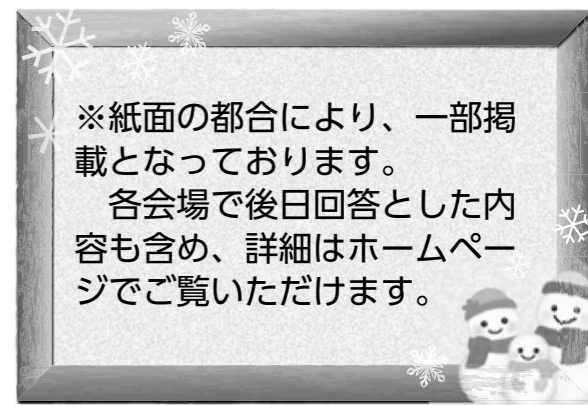
### ○主な質問・回答

- 不登校児童生徒への対策、取組について
  - 問 本市の取組内容は。
  - 答 担任や生徒指導担当職員を中心に教育相談や家庭訪問を実施している。今後はスクールカウンセラーやソーシャルワーカー、さわやか相談員等の方々の協力を得て教育相談体制を整備充実させ、家庭への支援と不登校児童生徒の解消に向けて努力していきたいと教育委員会から報告を受けている。



### ● 国民健康保険税について

- 問 30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が県になるが、保険税が上がるのか。
- 答 保険税については、まだ流動的な段階であり、最終的な結論は出ていない。30年2～3月には県から最終的な内容が示されるので、議会としても注視していきたい。





# 「埼玉県5か年計画」について学ぶ ～議員研修会を実施～

29年10月30日、議員20名全員出席のもと、埼玉県企画財政部計画調整課の堀口課長を講師に迎え、研修会を実施しました。

各種施策を提言していく議員として、県の計画について理解を深めるため、29年度からスタートした埼玉県5か年計画のポイントなどについて学びました。

議員として更なる資質の向上を図り、今後の議会活動に生かしてまいります。

なお、当日の資料代として政務活動費を活用しました。



## 【本会議の様様をインターネットで中継しています】

本市ホームページ（「ホーム」→「坂戸市議会」→「議会中継」）から、ライブ中継と録画中継でご覧になれます。

ぜひ、アクセスしてみてください！

◆インターネットホームページ <http://www.city.sakado.lg.jp>

◆スマートフォンサイト <http://www.city.sakado.lg.jp/sp/>

対応機種の方は二次元コードをご利用ください。→



※ 「坂戸市議会」のページでは、議会中継のほかにも、市議会だよりをはじめ、議会の会期日程、一般質問の通告内容、会議録及び請願・陳情の提出方法などがご覧になれます。

## 編集後記

市議会だより第147号をお届けいたします。今号では、12月定例会報告に加えて「議員研修会」、「議会報告会」の記事等を掲載いたしました。特に議会報告会においては、貴重なご質問・ご意見をありがとうございました。

市議会からの提案による「坂戸市イメージキャラクター条例（案）」へも、たくさんの市民コメントをお寄せいただければ幸いです。

これからも、市民皆さまとの交流の手段として、より一層分かりやすく、親しみやすい「市議会だより」を目指し、紙面づくりに努力を重ねてまいります。

（委員長記）

### 編集委員会

委員長	武井 誠
副委員長	野沢 聖子
委員	平瀬 敬久
委員	弓削 勇人
委員	森田 文明
委員	田中 栄
委員	猪俣 直行
委員	小川 直志